

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家

グループの名称

夕凧住宅研究会

直近採択グループ番号

04-0656-0620

(グループ代表者)

代表者名

小野 晃佑

代表者印

代表者所属先

NPO法人広島耐震マイスター倶楽部

代表者所在地

広島県廿日市市木材港南

代表者電話番号

08-2934-3755

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社小野産業

事務局担当者名

工藤 慎司

印

事務局郵便番号

738-0022

事務局所在地

広島県廿日市市木材港南4-3

事務局電話番号

08-2934-3755

事務局FAX

08-2934-3855

事務局担当者E-mail

kudo@ono-g.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		10	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0	棟	/					
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択され、戸数が確定した時点で速やかに全施工員と事務局は配分に関する会議を開き、これを分配する。ただし、今まで長期優良住宅の施工経験がない工務店を優先させる。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家	(地域型住宅供給対象地域) 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 夕凧住宅研究会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0656-0620	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・厳しい日射と寒暖差のため省エネ性能を重視し、平成28年省エネ基準以上の断熱性能とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・給水制限などの漏水対策に資する設備(雨水貯留タンク・節水型トイレ)を標準仕様とする ・屋根及び壁に通気層を設け、遮熱性能のあるシート等を施工する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・「瀬戸の夕凧」と言われる厳しい西日対策として、西側の窓は遮熱Low-Eガラスを使用する ・日照条件を活かし、後日の太陽光発電設置を考慮して構造計算を行う	◎
④①～③の背景	・温暖と思われがちな瀬戸内地方だが、夏・冬の寒暖差が大きい。 ・夏季の夕刻には、「瀬戸の夕凧」という無風状態が発生し、強い西日と共に耐え難い暑さとなる。 ・降水量の少なさから、人口が密集する地域では給水制限を受ける年もある。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当団体は、グリーン化事業に取り組み、現在では半数以上の施工構成員が経験事業者となった。本事業においては、更に中小工務店支援に注力し、2020年の省エネ義務化を全員で乗り越えることを目標としている。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 各工務店により独自の特色があるため、特に木材に関して今まで規格化は行っていない。ただし、躯体材及び省エネ機器の標準仕様書を作成する。(躯体材標準仕様書には、産地・認証制度・樹種の特性を記載し、顧客説明のツールとする)	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が各メーカーに価格交渉し、グループ内での推奨材料を各施工工務店に調達し、推奨する	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・住宅金融支援機構の不造住宅工事仕様書に準ずる ・省エネ機器の標準仕様書を作成する。	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・各工務店に対し、基本仕様を聞きだし、それを取りまとめ同じ仕様であればまとめて調達する。できるだけ仕様を合わせるように事務局は促す。	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・各工務店の標準仕様を取りまとめる。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・省エネ機器の新商品の研究や、断熱材の施工の適材適所の研究を行う ・使用する材料の統一を図る	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・県産材の供給予定量及び価格情報については原木、製材事業者、事務局は毎月、定期的に情報交換を行う ・国の施策情報のスピーディーな告知活動、補助申請手続事務等を行う	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: ・住宅金融支援機構の中国支店と連携し、フラット35の設計施工基準を基に整備する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ・民法改正を見据えて、施工立会いの下で完了確認を行い、契約不整合の発生を防止する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ・消費者が分かり易い、専門用語を極力廃した見積書を作成する ・メーカーや品番、定価等も正確に表示することをルール化する	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ・地域型住宅のパンフレットを作成し配布する ・事務局に相談センターを設けて消費者や施主の相談に応じる ・長期維持管理に関する協議会を設立し、倒産・廃業時に備えた引き継ぎ方法、瑕疵担保保険の付保義務を提示すること、等について消費者にもパンフレットで明確に表示する	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸の夕風も快適に暮らせる家	(地域型住宅供給対象地域) 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 夕風住宅研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0656-0620	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計図書は、住宅履歴情報機関に蓄積する	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅情報履歴機関を活用する	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主ごとの図面、点検結果の登録状況を事務局IDで直接確認	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ共通の維持管理計画書を作成し、それに沿って診断・点検を行う	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・仕様に関して特に取り決めがないので各自状況に応じて行う	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅情報履歴機関の点検結果チェックシートの登録状況を年2回確認	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人広島耐震マイスター倶楽部が行う耐震セミナー、相談会等への参加を勧める	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人広島耐震マイスター倶楽部が行う耐震セミナー、相談会等への参加を勧める	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NPO法人広島耐震マイスター倶楽部が行う耐震セミナー、相談会等への参加を勧める	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・今後の円滑な維持管理を遂行するために事務局と施工員は定期的に維持管理に関する意見交換を行う	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・万が一に備えて事務局は住宅情報履歴を閲覧することができるようにする	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検時期に担当工務店が履行できないときは、事務局の指示による別途構成員又は事務局が代	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・様々な団体が行うセミナー等への参加を勧める	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・株式会社広島建築住宅センターに依頼し、長期優良住宅の設計・申請・施工講習会を実施する ・会員の建てる地域型住宅の現場研修会を義務付ける	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅金融支援機構の中国支店と連携し、フラット35の設計施工基準を基に整備する。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・第三者機関による現場での検査確認	◎
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・特にはないが、安定供給のため、常に供給先と事務局は情報の交換をする。	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・毎回2~3社の長期優良住宅未経験工務店の参加を促し、とにかく年1棟は建てるように事務局はサポートしていき、底上げをしていくことに当面専念する	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・物件が発生しそうな場合、事前に供給先には在庫の確認、また、需要先にはいつごろ必要かを取	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 51 今年度の参加目標人数 10	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 66 今年度の参加目標人数 10	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局会社が広島県木造住宅生産体制強化推進協議会の構成会社であるため、事務局会社が受	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー部会を設置し、ゼロエネルギー住宅、LCCM住宅を研究し、情報を団体に共有す	◎
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 該当ありません	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸の夕風も快適に暮らせる家	(地域型住宅供給対象地域) 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 夕風住宅研究会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0656-0620	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 共通 地域材利用に関する ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
<p>地域材材利用に関する</p> <p>・土台 桧 (広島県産材産地証明制度)、(合法木材証明制度・国内)、ペイマツ(合法木材証明制度・国外)</p> <p>・柱 桧又は杉 (広島県産材産地証明制度)、(合法木材証明制度・国内)、ペイマツ(合法木材証明制度・国外)</p> <p>・梁、桁 桧・杉・松 (広島県産材産地証明制度)、(合法木材証明制度・国内)、ペイマツ(合法木材証明制度・国外)</p> <p>□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上</p> <p>主要構造材 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>地域材供給フロー</p> <p>地域材: 証明は次のいずれかとする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広島県産材産地証明協議会発行の産地証明書により証明された木材 2. 『緑の循環』認証会議(SGEC)又は森林管理協議会(FSC)により、認定された認定事業者の認定林産物 3. 森林・林業・木材産業関係団体が認定する合法木材供給事業者が県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等で明記した木材 4. 森林法に基づく伐採に関する手続きが行われたことを証する書類の写しにより、伐採の場所及び方法が明らかな木材(製品を購入する場合にあっては、伐採届出書等の写し及び県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等に明記した木材) 5. 合法木材証明制度により証明された木材 <p>合法木材供給事業者認定制度</p> <p>※この図は代表的なフロー図であるため、例外的に異なる場合がある</p> <p>※合法木材の一部においては、産地・出荷者が特定できない場合があるが、構成員による出荷であれば合法性の証明によって代替できる(特に原木供給者が海外の場合、本事業において、必要とされる本社の適用申請書記載事項確認書の添付が期限内での入手が不可能であった為、原木供給事業者の登録を行っていない。構成員の原木出荷が適合していることを示す。)</p>		
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p>○</p>
その他 ※上記項目以外でグループ独自		

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	該当ありません	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	該当ありません	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 瀬戸の夕凧も快適に暮らせる家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 広島県瀬戸内地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 夕凧住宅研究会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0656-0620	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>認定低炭素住宅の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準一次エネルギー消費量を一割以上削減する省エネ性能 ・性能評価機関による適合証を取得した建物 ・フラット35S(金利Aプラン)適用 ・住宅ローン控除(最大500万円) <p>ゼロエネルギー住宅の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次エネルギー消費削減率 28%以上(R) ・一次エネルギー消費削減率 105%以上(R0) 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。